

南アルプス展望とレンゲツツジの赤！
甘利山・千頭星山

実施日 2024年6月1日(土)
天候 晴
リーダー 遠井 謙策
参加者 若村勝昭、石附智江、渋谷京子、
遠井謙策 計4名
費用 JR4,980円(立川起点、あずさ・
ジパング利用) 合 2,950円
タイム 韮崎駅(8:40)甘利山駐車場(9:
30)甘利山(9:50-10:00)大西峰
分岐(11:25)千頭星山頂(12:00
-昼食12:40)展望台(12:50)千
頭星山頂(13:05)大西峰分岐(1
3:15)奥甘利山(13:50-14:00)甘
利山(14:30-14:40)さわら池(1
6:15)韮崎駅(16:50)
行動 6h ↑800m ↓1,200m

平均年齢77歳、さわら池からスタートしゆっくり登っていく予定だったが、体力等を考慮し下り優先の逆回りに変更した。

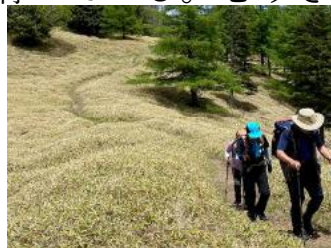
よって多くの方と同じ甘利山駐車場が登山口となった。自動車はほぼ満車だがレンゲツツジは満開にはまだ1~2W早いらしいらしい。それでも右に左姿に赤々と咲き誇るみずみずしいその姿に見とれて登ると、あっという間に甘利山山頂で、ちょっと物足りない。明るい陽射しに恵まれ、早速生き生きとした4人の集合写真を取る。



でも世の中何では百点満点とはいれない。肝心の西南方面だけが広く白い雲が帯状に垂れ込み、

南アや富士はベールの中。

そのうちと期待しながら先へ向かう。レンゲツツジに負けず、ズミ・ウメバチソウが白く可憐に花開き、ウグイスやコルリも盛んに囀っている。心うきうきする初夏の高原ハイクだ。途中で何度かきつい登りがあり息が上がる場面もあったが、すれ違おう若いハイカーにも励まされ



何とか大西峰分岐。稜線に出ると再び青空・笹原の道。

吹く風も気持ちいい。着いた千頭星山頂は木立の中。何組かの先客が弁当を広げている。我々もランチタイムとした。

腹も膨らみゆっくり休養も取った後、元来た道を引き返す。その間代表者1名が先足の展望台へ足を伸ばした。



予想通りまだ南面のガスは晴れず徒労となったが、イワカガミに出会ったり別パーティーと貴重な情報交換が出来たりの思わぬ恩恵もあった。

帰路は往路パスした奥甘利山に寄り、ある人は7年前を思い出し感慨に耽っていた。



再び踏んだ甘利山山頂から愈々未踏の道を、ゴール地点のさわら池へ向かって歩き出した。観光協会の案内の通り、余り人は歩いてないようであら寂しい熊笹とクロモジ・カエデなどの樹林の静かな道だ。ただ踏跡は意外とはっきりしていてリボンも親切でルートは基本分かり易い。それでも老齢のパーティーには厳しい行程で予想以上に時間が掛かり、予約のタクシーを若干待たせてしまった。

さわら池へ下っていく途中、W氏の靴底が剥がれるハプニングが起きた。幾らでも誰にでも起こるアクシデント。でもさすがベテラン揃い。皆準備がよい。針金とテープで慌てず応急処置。事なきを得て無事下山できた。今回に限らず、登山には色々な予期せぬ事故・トラブルが起る可能性がある。常にあらゆる事態を想定した準備を怠らないよう心掛けて山登りを楽しむようにしたい。

蛇足になるが、昨今熊出没の話題が尽きない。スプレーは兎も角、効果の程は確実ではないにしても熊鈴くらいは持ち歩くようこちらも留意したい。

(記&写真・遠井 謙策)



(写真提供・渋谷 京子)